

世代を超えて未来へ

私たちの『森林ボランティア「オホーツクの会」』は、森を愛する皆さんが集まり、平成20年の3月9日に発足しました。

オホーツクの森を主な舞台とし、森林とのふれあいを楽しみながら、森林に学び、森林をつくり、仲間の輪を拡げる活動を始めて10年が経ったこととなります。

お世話になっている多くの方々に心から感謝を申し上げます。

これからも会は、私たちの取り組みや仲間の輪が世代を超えて未来につながっていくことを夢見ながら歩みつづけます。

一緒に、会を育て、一緒に会の活動を楽しんで行きましょう。

会長 鞆師 守



会結成 10 年

好天に恵まれた6月17日、会員19名の参加により、会結成10周年記念行事として、森林散策会・記念植樹等を行いました。

開会式では、会長のあいさつの後、網走中部森林管理署長・常呂川森林ふれあい推進センター所長から激励のあいさつを受け、森林散策をスタートしました。

午後からは、大きく育つことを願いながら、オホーツクを代表する広葉樹「ミズナラ」を参加者全員で植え、角副会長の手作り看板を設置し、今後の活動への決意を新たにしました。

事務局長 吉田昭義



新緑を楽しむ森林散策会

森林散策は、4班に分かれ「展望台～クリンソウ～ハルニレ～十字園」のコースを楽しみました。

展望台からは、能取湖、網走湖、天都山はもとより、少しかすんでいましたが、知床連山まで見渡すことができ、「初めて来たけどスゴイ！」などの歓声があがりました。

クリンソウコースでは、咲き乱れるクリンソウに「増えたねえ…」「こんなところ（オホーツクの森）にクリンソウがあるなんてビックリ！」などの声が聞かれました。

そして、「古の森」では、ハルニレやエゾマツの大径木や小鳥のさえずりに感動を覚えました。

ガイドの説明を聞きながら、新緑に包まれた森林を感じ、おしゃべりを楽しんだ森林散策は、予定時間をオーバーするほどでした。

オホーツクの森 市民のレクレーションの場として発展を

人口12万人の北見市街地から車で30分ほどの所に、この様に広大で多様な林相をもつ森林（オホーツクの森）があることは本当に素晴らしいことだと実感しました。

この豊かな自然を守り育てていくために活動している「オホーツクの会」の皆さんに改めてお礼を申し述べるとともに10周年を祝いたいと思います。

この深い森林を、市民のレクリエーションの場として発展させ、私たちだけの世代で終わらせることなく、100年、200年と子孫に伝えていくことが大切だということを教えられた一日でした。

この日のために尽力いただいた役員の皆さん、楽しく有意義な一日をありがとうございました。

中野 富美子

森林の魅(味)力を感じよう！

毒

バイケイソウ クサノオウ
食えない奴だ…

エゾノレイジンソウ

5月27日(日)、オホーツクの森(「森の家」周辺)で常呂川森林ふれあい推進センターの主催による【森林の魅(味)力を感じよう！】が行われました。

これは、山の日の趣旨である「森林に親しみ、森林の恵みに感謝！」をうけたもので北見市および近隣から30名の参加がありました。



常呂川FCの近藤さんから、『山菜の魅力は ①味・香り ②達成感 ③無料ということがあるが、特に「タダという誘惑に負け、大量に・根こそぎ(物欲)、独り占め(独占欲)」とならないよう、ルールを守って』との話がありました。

その後、「森の家」周辺で試食用の山菜・野草を採取しましたが、フキ、ヨブスマソウ、ニリンソウ、ヨモギ、セリ、ミツバ、タンポポ…食べられる野草がたくさん、そして、それらに混ざって生えるバイケイソウ、エゾノレイジンソウ(トリカブトの仲間)、クサノオウなどの毒草などを確認しながら、採取方法・注意事項を学びました。

その後、吉田正コック長、渋谷板前による山菜シャブシャブ、和え物、フキ・ヨブスマソウのみそ汁をおいしくいただきました。

午後からは、山菜採取を目的に森林散策…ウドやフキなどのお土産を手に帰路につきました。

(会員多数参加のため、参加者省略)

森林の魅（味）力を感じよう！

食糧危機も大丈夫？



「森林の魅（味）力を感じよう！」のサポート役として、試食用山菜の採取、調理等をさせていただきました。

参加者は、あまり口にしないであろうと思われるタンポポ、ヨブスマソウ、オオイタドリ、ニンソウ、ハンゴンソウ、エゾノギシ

ギシ等の食材に少しためらいながらも口にすると「なかなかイケル！」との反応で笑顔がこぼれていました。

豊かな自然が守られていれば多少の食糧危機は乗り越えていけるとの声も聞こえました。

ふれセン職員のおかげで山菜のバリエーションが増え、午後の散策ではあまり採取しない物も持ち帰った方もいたようです。

前日の準備（第2回自主活動）も含めて参加された皆さん、お疲れ様でした。

<吉田正>

【なるほどクイズ】

（答えは会報のどこかに…）



「山の木を切ったから川の水が減った」という話を耳にしたことがあります。森林と川の流水量の関係はどうなっているのでしょうか？

- ①森林が豊かになれば流水量は増える。
- ②森林が豊かになれば流水量は減る。
- ③森林と流水量は関係ない。

シャッター通りを実感！

緑の募金

晴天に恵まれた4月23日（月）、花と緑の市民の会主催の「緑の募金」街頭キャンペーンが7団体約60名の参加する中で行われ、当会から吉田正、小川の2名が参加しました。



募金場所は、いつも通りの「矢田青果店」前で、集合場所の駅裏から歩きながら行ってみると店のシャッターが降りていました。

途中にも店じまいしたところがあちらこちらに…昔の人通りが多かった頃を知る身としては何とも寂しい。

人影は疎らでしたが「大丸」さんのところだけは繁盛していました。

<小川>

作品づくりに真剣…ネイパル体験 DAY

4月29日（日）、常呂川FCの要請を受け、ネイパル北見（常呂町栄浦）で行われた「ネイパル体験 DAY」に参加してきました。

昨年と違い、宿泊者を対象とするイベントで落ち着いた雰囲気の中、木工クラフト、竹とんぼなどを提供しました。



私が準備した「森林をイメージした簡単ジオラマ」は子どもたちの受けも良く、真剣になって作成していました。

また、午前中だけでなく、午後からも作品作りに取り組む子もいて、思い思いに作品を完成させていました。

なお、当日の協力は角、長谷川、渋谷の3名でした。

<渋谷>

自然に学び隊 活動スタート

第1回 野付牛公園

5月13日（日）、町の中にある公園としては、比較的広く、多くの市民が楽しむ憩いの場所となっている野付牛公園で9名の参加により散策を楽しみました。



ハウチワカエデやシラカンバなどの公園にある樹木や足下に咲くアケボノセンノウ・クサノオウやセンボンヤリの特徴を観察しました。

また、野付牛公園は、原生林だったところを昭和24年頃に本格的に整備したと言われており、公園を見渡すと樹木間の生存競争をうかがわせる興味深い現象を見ることもできました。

樹木と樹木が接触すると ①相手をはねのけようとし ②それがだめなら相手を呑み込む 結合した木の誕生

第2回 オホーツクの森

6月10日（日）、6名の参加で展望台〜クリンソウ〜古の森を散策、10周年記念森林散策会の事前勉強会を兼ねて行いました。

散策路には、ノビネチドリやあざやかなクリンソウのピンクの花が目飛び込み、改めて自然の美しさを感じました。

途中の清流では、アイヌワサビを味わい、自然の恵みも実感しながら「この木は何？」「この白い花はズダヤクシュ。」など、年齢とともに頼りなくなる互いの知識・記憶と図鑑を片手に頑張りました。



ノビネチドリ

「カメラのレンズキャップを落とす」というハプニングもありました（探した結果、無事発見！）が、その成果は森林散策会で発揮できたかな？

＜自然に学び隊隊長 吉田昭義＞

第1回自主活動

冬アカー掃でリフレッシュ！

3月下旬並みに気温が下がり、春とは思えないくらい肌寒い5月8日(火)、常呂川 FC の新メンバーの南所長、磯野自然再生指導官も参加する中で今年度1回目の自主活動をオホーツクの森「森の家」周辺で行いました。

「森の家」・休憩所の冬アカ落とし、駐車場の不陸ならし、10周年記念植樹の準備作業などを手分けして行いました。

その後、平安遊歩道を散策しながら、倒木や落枝を取り除きましたが、降雪が少なかったためか、障害物は少なく、今年も安全に散策できることを確認しました。

そして、昼に待っていたのは、小島コック長、渋谷調理師が準備した串焼きとヨブスマソウ入りのみそ汁…冷えた身体を温めてくれる最高のご馳走となりました。

ほぼ半年ぶりの「森の家」&オホーツクの森、会の仲間との歓談でリフレッシュ…冬アカと一緒に心の垢も落とせたかな？

なお、参加者は次のとおりです。【吉田昭、長谷川、小島、金村、植村、小林、小山、轡田、渋谷、長南、栄】

<栄>

【なるほどクイズ】(答え)



森林に降った雨は、葉や幹を伝って地面に達し、堆積した落ち葉や空洞（小動物の掘った穴、枯れた木の根など）に蓄えられ、少しずつ川へ流出すると同時に光合成や蒸散に利用されますが、固い土地に降った雨は、一気に川へ流れるため洪水・土砂災害の危険が高まります。

もう分かりましたよね。森林に降った雨は川へ流れる前に利用・蒸発するため、河川への流出量は平準化しますが、流出量は減るのです。

したがって、答えは②、森林は水を作らない！のです。

第2回自主活動

ノブキは苦い！

第2回自主活動は、5月26日（土）に常呂川FCの今年度最初のイベント「森林の魅（味）を感じよう！」に向けた準備を中心に行いました。



はじめに、ふれセンの要請を受け、間伐によりカミネッコン植栽地の通路に散乱した枝等を通路整備を中心に行いました。

その後、若干の山菜を採取…翌日に向けての調理実習&試食会を行いました。

「タンポポは苦いけどそこがいい」「ヨモギはしわくてしゃぶしゃぶには向かない」「ハンゴンソウはシャキシャキしていける!」「ノブキはあく抜きしないとムリ！（苦すぎる…）」など、参加者にはモニター（実験台?）として協力していただきました。

参加者は次のとおりです。【長谷川、吉田正、小島、小原、小山、渋谷、相馬裕、相馬真、吉田昭】

<吉田昭>

クリンソウはジャマ？

第3回自主活動

時折、冷たい小雨が降る6月12日（火）、展望台・古の森遊歩道の整備（草刈り）を中心に行いました。

クリンソウが咲き乱れている箇所もあり、「一緒に切ってしまいそう。鎌を振るのが大変。」「古の森の木橋が腐朽しており、迂回路作り」という場面もありましたが、栄さん、小原さんの刈払機、常呂川FCの電動刈払機の活躍もあり、みんなで手分けして終了…。

なお、参加者は次の通りです。【栄、長谷川、小島、小原、渋谷、小山、植村】

<植村>



※ 申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい

○オホーツクの^{もり}森林作り（常呂川FC主催、自然再生協議会後援）

日時 平成30年7月8日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます。
出発 9：00（受付 8：30～）

場所 オホーツクの森

内容 自然再生モデル事業地（カミネッコン植栽地）の保育活動、刈出し、自然観察他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他

申込み 6月28日（木）まで

○第4回自主活動（5月～10月、第2火曜日）

日時 平成30年7月10日（火） 9：30～

場所 「森の家」集合

内容 「森の家」周辺の環境整備、自然観察他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他

申込み 7月2日（月）まで

○生田原教育センター森林教室（常呂川FC協力）

日時 平成30年7月21日（土） 10：00～（9:30集合）

場所 オホーツクの森（森の家周辺）

内容 生田原の小学生（25名程度）の森林教室等の運営、助言、協力等

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物他

申込み 協力いただける方は7月12日（木）まで

○農林水産省「こども見学デー」（常呂川FC等共催）

日時 平成30年7月26日（木）～27日（金）
両日とも10:00～15:00

場所 北見市立東小学校 体育館

内容 木工クラフト等の作成指導

持ち物 昼食、飲み物他

申込み 協力いただける方は7月18日（月）まで

○オホーツク森林フェスティバル（オホーツクみどりネットワーク主催）

日時 平成30年7月28日（土）～29日（日）
場所 網走市「こまば木のひろば」
内容 木工クラフト等を通しての活動PR他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 参加できる方は7月21日（金）まで
＜詳細は問合せ願います＞

○こども環境ウォッチング（北見市主催、常呂川FC協力）

日時 平成30年7月31日（火）
9：30～15：00
場所 「森の家」集合
内容 小学生対象の自然観察の指導・助言他
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物他
申込み 常呂川FCより個別に要請されますので協力を！

○第5回自主活動（5月～10月、第2火曜日）

日時 平成30年8月7日（火） 9：30～
場所 「森の家」集合
内容 展望台・「森の家」等の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 7月30日（月）まで

○みどり検定（オホーツクみどりネットワーク主催）

日時 平成30年8月11日（土・祝）
場所 網走市「こまば木のひろば」
＜詳細は問合せ願います＞

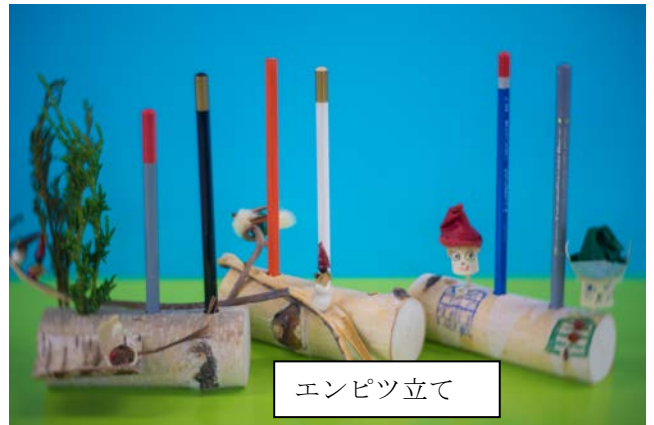
○山の日記念「藻琴山散策会」（常呂川FC、東部森林室等主催）

日時 平成30年8月25日（土）
北見駅南口プロムナードから貸し切りバス
8：30（受付8:15まで）～15：30
場所 藻琴山
内容 「東藻琴側登山口～頂上～ハイランド725」のルートで自然観察しながら登山を楽しむ
持ち物 登山できる服装、昼食、飲み物他
申込み 8月17日（金）まで

オリジナルグッズを作ませんか！

と き：8月5日（日） 10：00～12：00

と ころ：常呂川森林ふれあい推進センター（2F 会議室）



隊員募集しています！

◆自然に学び隊	隊長	吉	田	昭	義
◆炭づくり隊	隊長	小	島		愼
◆クラフト研究隊	隊長	渋	谷	朝	美
◆竹とんぼ隊	隊長	長	谷川	秋	夫
◆身体動かし隊	隊長	栄		平	男
◆色いろ食べ隊	隊長	金	村	輝	雄
◆活動広め隊	隊長	植	村	之	彦
◆ロープ結び隊	隊長	角		良	和

◎重複参加も OK です。

申込みは、別紙により事務局へ

木々に関するつぶやき

「ニセアカシア（ハリエンジュ）」（貴重な蜜源だけど…）

野付牛公園、緑ヶ丘公園などあちこちで白い花を咲かせおり、良質な蜂蜜の源ではあるが…。

タネで増え、根を伸ばした先で発芽し、切り倒しても根元にひこばえで復活…何ともすごい繁殖力、しかも、マメ科の植物であり痩せ地でも育つことができる。

そんなことから他の植物の生存を脅かすおそれのある植物として扱われている。

名の由来の通り、若いときには鋭いトゲがある。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



心当たりの方はよろしくお願いします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
（会報等でご確認ください）
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144